

# グループワーキング説明資料

# 趣旨、タイムスケジュール

- グループワーキングの達成目標：**機関・部署ごとに自らが解決すべき課題を考える**

	内容	所要時間	時刻
①	趣旨説明/グループワーキングの進め方	15	14:40～14:55
②	■ 水害リスクの把握と自己分析 ・ 自己分析シート作成 ・ 自己分析シートの共有	40 (25) (15)	14:55～15:35
③	■ 発表と意見交換	15	15:35～15:50

# グループワークの構成

## ■ 防災対応の目標が重なる機関・部署でグループ分け

テーブル No.	グループ名	対象機関	実施目標
①	防災情報	気象台、河川管理者 県土木部局 道路管理者（情報）	気象情報や河川・ダム情報等を発信 所管施設の運用・早期復旧、浸水範囲抑制
②	避難対応	自治体危機管理部局、 福祉部局	避難所開設、避難情報発令、要配慮者への対応等
	広報・報道	報道事業者	被害情報や対応状況、避難情報の住民へ 広報・報道
③	大規模避難・救助	県危機管理部局、 警察、消防、自衛隊	大規模避難の指揮や避難誘導、救助
④	社会基盤 （交通・運輸）	交通事業者、 道路管理者（復旧）	帰宅困難者の抑制や所管施設の早期復旧
	社会基盤 （ライフライン ・通信インフラ）	自治体上下水道部局 ライフライン事業者 電気通信事業者	機能停止の予防、早期復旧

# 水害リスクの把握と自己分析

# 自己分析シート作成 [25分]

- 機関・部署毎に4つのテーマについて、自機関・部署における分析を行います。

機関名	部署名	氏名
<small>※複数名の場合は連名で記載して下さい。</small>		
<p>①水害発生時におけるミッション</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 適切な河川情報の発信</li><li>・ お客様の安全確保</li><li>・ 早期の機能復旧</li></ul>	<p>②自機関に係る水害リスク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ●●施設が倒壊のリスク</li><li>・ ●●設備が浸水により機能不全</li></ul> <p style="text-align: center;"><b>浸水被害リスク図で 水害リスクを把握します。</b></p>	
<p>③タイムラインに期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設被害による機能不全を回避するための対策方法の検討</li><li>・ 車両の水没を回避するための、退避タイミングや退避場所の検討</li></ul>	<p>④水害時の防災行動に対する懸念事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大量の情報の処理集約</li><li>・ 住民の避難につながる情報発信内容・方法</li></ul>	

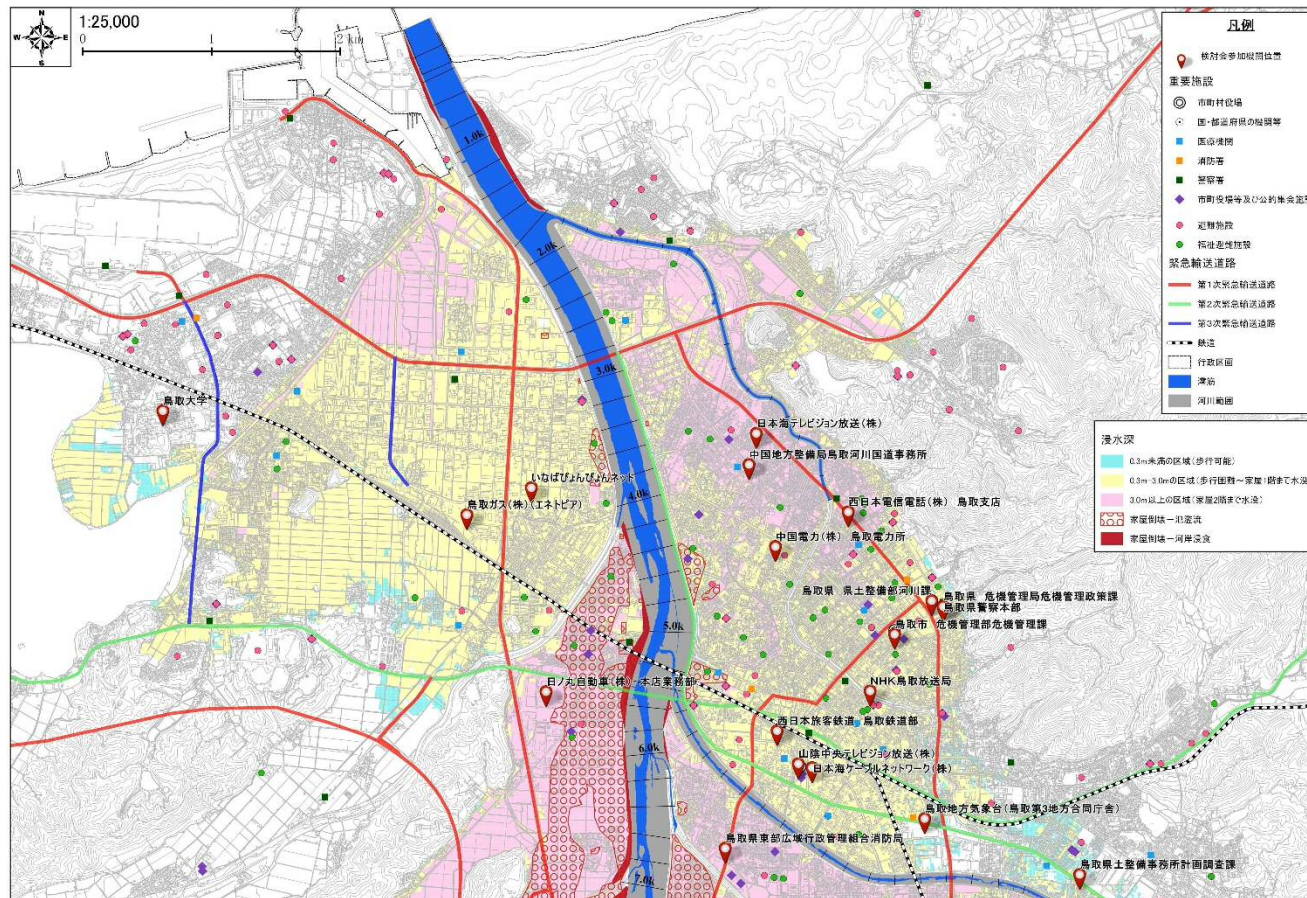
平成30年7月豪雨の実態も踏まえて抽出

# 自己分析シート作成 水害リスクの把握

■ 浸水被害リスク図を確認し、自機関の水害リスクを把握します。

## 確認のポイント

- 自機関の活動拠点や所管施設・設備の水害リスク（水没、倒壊、長期浸水）
- 活用拠点や所管施設・設備へのアクセスルートの水害リスク

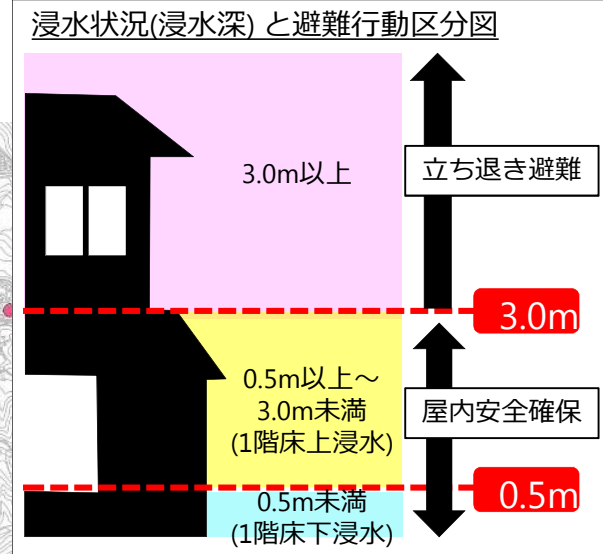


※浸水被害リスク図は  
拡大図で作成し各  
テーブルに配布し  
ます



# 自己分析シート作成 浸水被害リスク図の説明

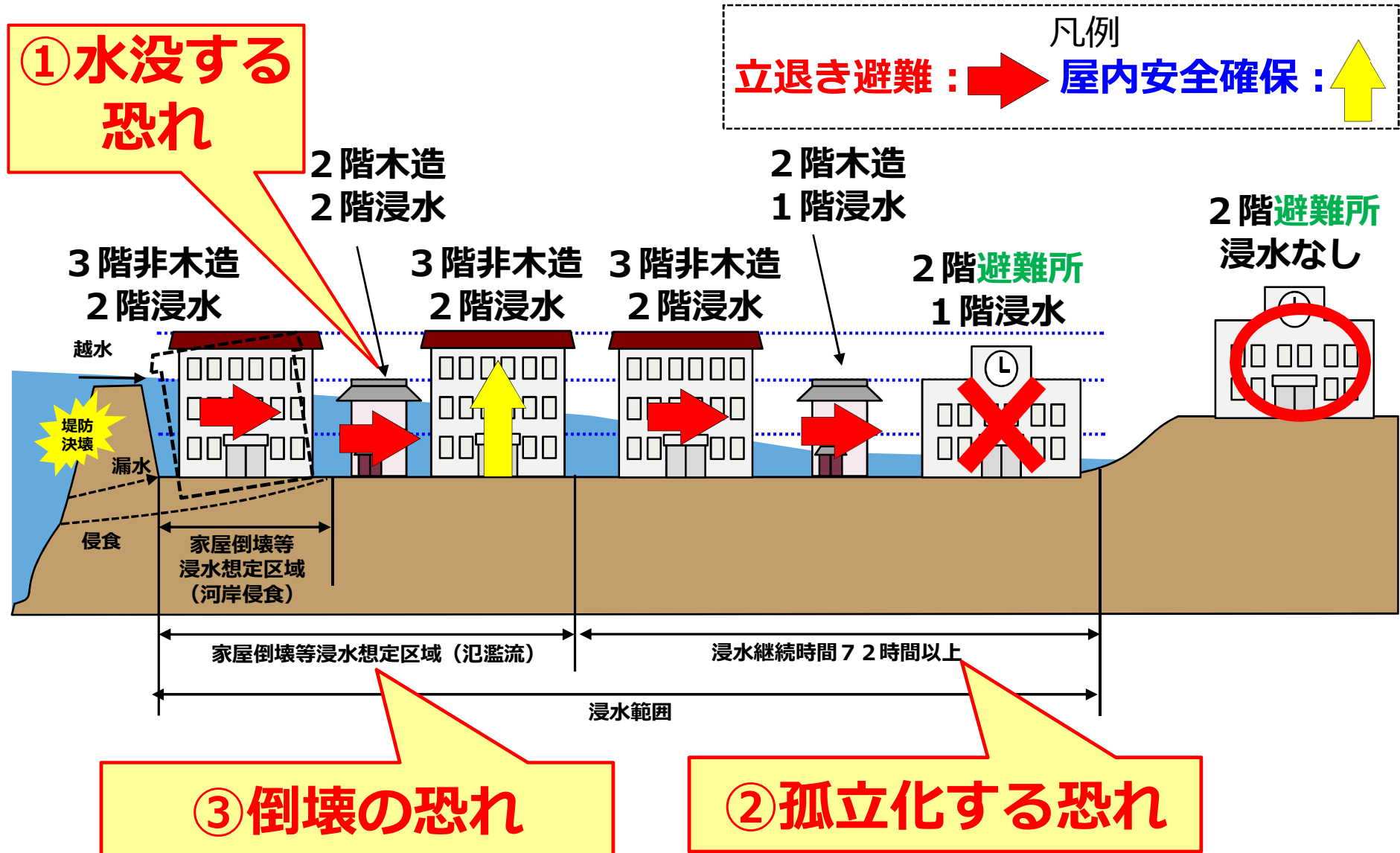
避難行動に着目し、木造2階建物を対象として、**屋内安全確保が可能な範囲、立ち退き避難が必要な範囲**を表示



凡例	避難行動	避難要因	氾濫指標
	立ち退き避難	家屋倒壊	家屋倒壊等区域 (河岸侵食)
		家屋倒壊	家屋倒壊等区域 (氾濫流)
	浸水		浸水深3.0m以上
	屋内安全確保	浸水	浸水深3.0m未満

**立ち退き避難は、避難要因別に色分け**

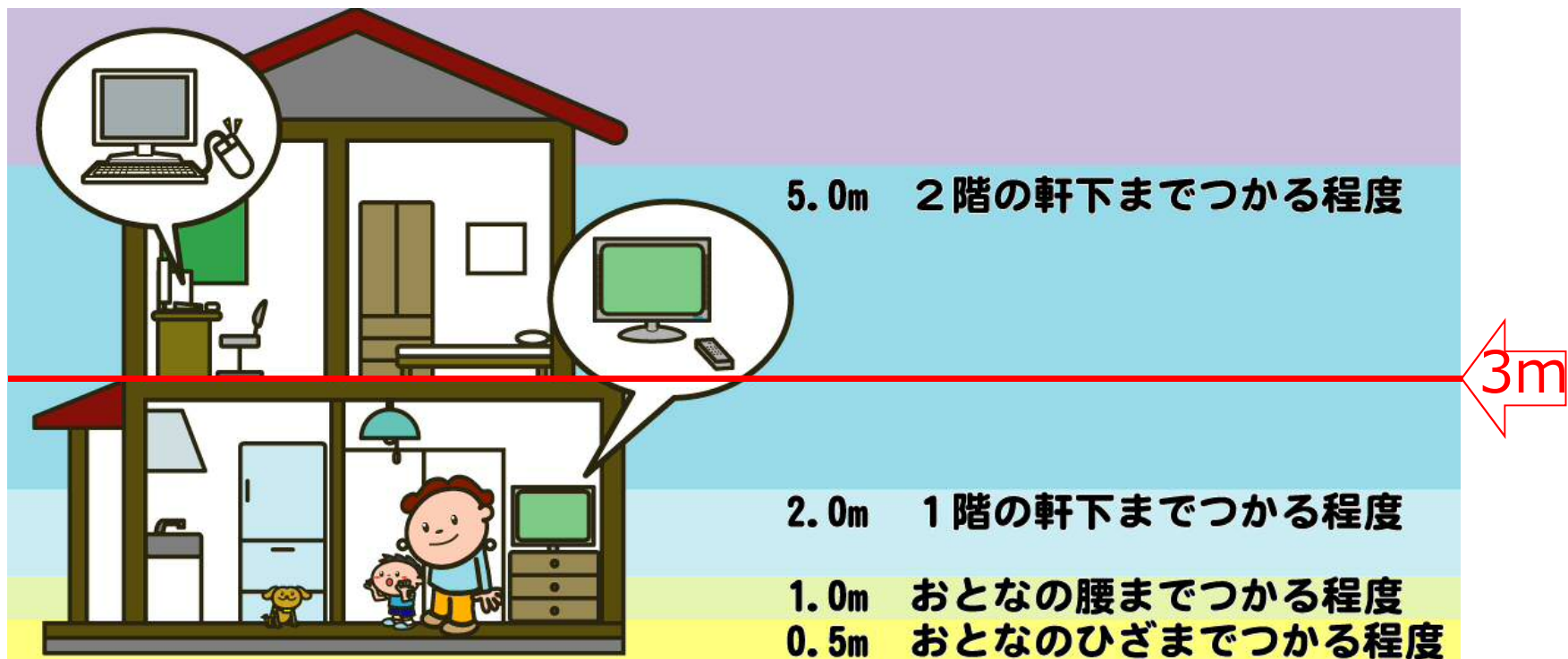
# 自己分析シート作成 ～補足：立退き避難の考え方～





# 自己分析シート作成 ～補足：水没する恐れ～

- 浸水深に関する情報について
  - 浸水深3m以上⇒平屋は冠水。2階建は2階が浸水し避難が必要



# 自己分析シート作成 ～補足：倒壊する恐れ～

## ■ 家屋倒壊等氾濫想定区域に関する情報について

家屋倒壊等氾濫想定区域	
氾濫流	<p>河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、<b>木造家屋の倒壊</b>のおそれがある区域</p>  <p>資料：国土地理院</p>
河岸侵食	<p>洪水時の河岸侵食により、<b>木造・非木造の家屋倒壊・流失</b>のおそれがある区域</p>  <p>資料：西日本新聞社</p>

## 自己分析シートの共有 [15分]

- 自己分析シートを使って、各グループ内で部署ごとに発表
  - 各機関・各部署で3分程度
  - 各グループで司会、タイムキーパーを決めて進行をお願いします。
  - この後の意見交換で発表する代表者も決定してください。



グループ発表のイメージ

(出典：平成29年度日野川大規模氾濫時のタイムライン検討会の概要)

# 発表と意見交換



## 発表と意見交換 [15分]

- ワークシートを使って、グループごとに発表  
1グループで4分程度
- 発表のポイント
  - グループで共通していたミッション
  - グループで共通していた懸念事項
  - 他グループと連携した解決が必要な懸念事項

# 事務連絡、次回（第1回検討会）の予定

## 事務連絡

---

- **①自己分析シート、②水害リスクマップは回収します**

- 事務局でスキャンした上で、スキャンデータの共有を致します。所内共有資料等としてご活用ください。

## 次回の予定

---

- **開催日時：9月（予定）**

- **内容：重点行動の具体化・細分化**

- 【座学】タイムラインに係る気象・河川・防災情報
- 【座学】タイムラインで想定する災害シナリオ（浸水リスクマップの提示）と警戒レベル（タイムラインレベル）の設定
- 【WG】水害リスクを把握した上で各機関で最も重点的に取り組むべき行動項目と課題を抽出して頂き、防災行動の全体像を把握頂きます。その上で、各行動項目についてその重要度・影響度と多機関と連携すべき行動等について抽出して頂きます